

地区スローガン：「Love Other Spirit ～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～」

クラブ方針：「豊かな心を持とう! 今こそ『絆』」

国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
 会長 今野 文明 幹事 本橋 和也
 例会場 千葉スカイウインドウズ 東天紅 センシティブタワー23階
 TEL 043-238-5555
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
 URL : <https://www.chibawest-rc.net/>

■ 例会取消のため臨時週報会長挨拶 / 今野文明 会長

皆様、改めまして、この厳しいコロナ禍の中、本年度のロータリー活動へのご理解、ご支援を頂き誠にありがとうございます。

5月15日(日)～16日(月)で親睦旅行を実施致しました。その際、旅行参加者に新型コロナウイルス感染症に罹患された会員がおりました。5月16日(月)朝、PCR検査の結果を受け感染が発覚したため、隔離の上で抗原検査を行ったところ、16日(月)昼時点で陽性の判定でした。

16日(月)千葉へ帰着後、参加者全員で抗原検査を実施、結果は全員陰性でした。前田委員長をはじめ親睦活動委員会及び依田会員の敏速な対応により、旅行参加者全員、安心をして帰路に着くことができました。

現在蔓延しているオミクロン株の潜伏期間は、3日程度であり、その前後にウイルス量が増大することから罹患患者接触3日後の18日(水)に再度抗原検査を実施、全員陰性でした。またこの間に発熱等、感染を疑う症状は見受けられませんでした。

以上のことを踏まえ、また出来事を把握していない旅行に参加していない会員の不安も熟慮し、会員の皆様の「安全・安心」が一番と考え5月24日の例会は取消とさせて頂きました。急な変更で大変なご迷惑をお掛けしますこと、心よりお詫び申し上げます。

5月は青少年奉仕月間です。若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる月間であり、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年及び若者にとって好ましい変化をもたらされることを認識する月間です。

本来5月13日、館山市南総文化ホールで開催予定だった「インターアクト指導者講習会」の日程が6月24日に変更になりました。須藤委員長をはじめ、青少年奉仕委員会の皆様、よろしくお願い致します。以上でございます。ありがとうございました。

※今現在コロナ感染者の無症状が多く、これだけ感染者の高止まりが続く中、誰もが感染する可能性があります。前野会員は、仕事の都合で行政から送られて来るPCR検査を毎週金曜日に受けておりました。5月6日のPCR検査は陰性でした。5月10日に体調不良で病院に行き、普通の風邪だと診断されたので、安心して親睦旅行に参加しました。そして毎週金曜日に受けているPCR検査を5月13日に受け、その結果の報告が陽性と親睦旅行中16日の朝にありました。けして、体調不良でPCR検査を受け、結果が出る前に親睦旅行に参加した訳ではありませんが、本人は慎重さに欠けていた行動に猛省しています。本人が例会に復帰した時には、温かく迎えて頂きたいと思っております。

今回の問題は、個人の問題ではなく、クラブ全体の問題だと考えています。クラブ全体の問題だということは、全て会長である私の責任です。「雨降って地固まる」今後のクラブの危機管理を今一度見直したいと考えています。皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。

■ 新入会員卓話延期に伴い近況報告

・渡邊寛昭 会員

皆さま、こんにちは。コロナ禍が続いており、まだまだ、様々なところに制約がありストレスが溜まる一方です。ただ、私は、一年中アレルギー性鼻炎が酷く、常時薬を服用してはいたのですが、コロナ禍となりマスク着用により症状が大幅に緩和され、薬を飲まなくなっており、その点では良かったと思います。とは言え、皆様方にとってはマスクが不快な方も多いと思いますので、早く鎮静化してマスクがない生活に戻れるといいですね。

・田中 智 会員

京葉銀行の田中です。卓話が延期になったので近況報告します。コロナによる自粛はまだ行内では継続されたままで、飲食等は禁止されたままです。すでに半年以上は外で飲んでいません。7月で稲毛支店にきて1年になりますが、その間でたった1度だけ外で飲んだだけです。早く、この状況がなくなることを祈っています。ロータリー活動ですが、本当に申し訳ないのですが、まだ、名前が一致していないのが現状です。逆に田中の名前もまだ覚えていただけてないかとも思います。いずれ、卓話の機会があると思いますが、覚えていただけるような行動をしていきたいと思っております。卓話では、32年間の銀行員生活の話をしたと思います。バブル入行、バブル崩壊、預金中心業務から融資中心業務へ、収益重視業務へと銀行も変化してきています。特に支店長の役割が変わって来ていると感じます。緊張してタドタドしくなるかもしれませんがその時はよろしくお願い致します。近況報告でした!



■ クライナ危機へのロータリーの対応

ロータリーは、ウクライナでの戦争による人命の喪失および人道的危機の深刻化を深く懸念しています。私たちは地域に根づいたネットワークと数十年にわたる経験を生かし、現地で迅速に行動を起こしています。

ご寄付が活用されています

2022年3月3日から4月30日までにロータリー災害救援基金に寄せられたすべてのご寄付は、ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援が行われている地域への人道的救援活動に優先して活用されています。

世界中の方々からの温かいご支援のおかげで、ロータリーは1,500万ドル以上の寄付を募り、水や食糧、シェルター、医療物資、衣服といった必需品のために既にこの資金を活用しています。

現在までに、この戦争による被災者支援のために、90件の災害救援補助金（総額240万ドル）が授与されています。ロータリー財団は引き続き、この寄付をウクライナとその周辺地域での人道的救援活動に活用していきます。地区は2022年6月30日まで、この目的のために災害救援補助金を申請できます。

5月1日以降の災害救援基金へのご寄付は、復興援助を必要とする全世界の被災地で活用可能となります。

災害救援補助金の申請

ロータリー地区が災害救援基金から補助金を申請する方法をご覧ください。

迅速な手続きが行われるこの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。地区は、地元自治体や地元団体と密に協力し、補助金が地域の具体的なニーズに充てられるようにすべきです。

クラブ・地区による救援活動の連絡先と支援方法

ウクライナと近隣地域では、多くのクラブと地区が人道支援活動を行っています。ロータリークラブや地区の協力を得る方法、難民の宿泊に関する連絡担当者、その他の各地での取り組みについてご覧ください。各地のプロジェクトを直接ご支援いただけます。

第2232地区（ウクライナ）は、ウクライナでの戦争の被災者を支援するための委員会を結成しました。同委員会は、負傷した市民のために必要とされている緊急医療物資のリストを作成しました。

ロータリーによる救援活動のストーリー

ウクライナ難民に情報、移動手手段、医療品、シェルターを提供するため、欧州や世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブが、周辺地域の会員とともに支援活動に乗り出しています。



ロータリーによる対応



ニコニコBOX
・なし

千葉西ロータリークラブ	総数	本日の出席	出席	前々回の修正	メンバー	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	46名		0名		2名	0%		0円	
	対象者		欠席		欠席	前々回の出席率		本年度累計	
46名	0名	8名	81.40%	875,000円					

クラブ広報・ロータリー情報委員会 【委員長】桜井隆宏 【副委員長】海賢勲 *高橋健一郎 【委員】嶋田 悠 *野城隆憲 *北村悠介 *中村武弘 *川崎美嘉子

■ 次週プログラム
5月31日(火) 夜例会
◎ 炉辺会談
クラブ広報ロータリー情報委員会主催
18:00点鐘 千葉スカイウインドウズ 東天紅